

「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」が設置されました

2月8日、市の「新型コロナウイルスワクチン接種対策室（室長：三好一夫医療保健課長兼国東保健センター長兼務）」が医療保健課内に設置されました。配属となる職員は6名（兼務4名、専任2名）で、ワクチン関連情報の収集やワクチン接種体制の整備、市民からの問い合わせ対応などの業務にあたります。

三好室長

「ワクチン接種は4月以降に始まる予定なので、まずは、ワクチンの接種券（クーポン券）の発送準備にとりかかりたいと思います。市民の皆さんが安心してワクチンを接種できるように努めます」



2月8日の辞令交付式

【問合先】 新型コロナウイルスワクチン接種対策室（医療保健課内） ☎0978-73-2450

国東を元気にする人 71

出身は別府市で、小学3年生から柔道をしています。小学校の時の成績は、最高で県3位でした。「より強くなりたい、1番になりたい」との思いで、古宮洋人先生の指導を受け、安岐中学校に入学しました。古宮先生はできるまで徹底して教えてくれるので、それが柔道の上達につながっていると思います。

昨年の県新人大会で、個人で優勝できたことは自信になりました。でも、団体戦は戴星学園（豊後高田市）に負けて準優勝だったのが悔しいです。みんなでもっと練習して、戴

星学園に勝てるように頑張りたいです。



安岐中柔道部の皆さん



もっと練習して団体でも優勝したい

県中学校新人柔道大会（男子73kg級）で優勝

くぼ あつし 久保 純獅 さん（安岐中1年生）

お誕生おめでとう（敬称略）（ ）内は保護者の名前／1月16日～2月15日までの届出分

1月

22日 国東町鶴川 小笠原 衣 都（和也・鮎美）
14日 安岐町向陽台 鋤 崎 茜 音（雅紀・真奈美） 24日 安岐町成久 手 嶋 廉 人（浩史・友美）
15日 安岐町下原 財 前 茉 弥（拓弥・梨那子） 28日 武蔵町手野 友 成 陽 楠（敏也・真奈）
22日 国東町北江 宮 崎 咲 綾（洋明・奈緒美） 安岐町塩屋 寺 下 紀 帆（晋平・仁美）

お悔やみ申し上げます（敬称略） 1月16日～2月15日までの届出分

1月

16日 安岐町矢川 諸 富 昭 夫（93）
17日 安岐町瀬戸田 清 原 ヨシ子（94）
19日 国東町浜 藤 原 喜美代（85）
国東町岩屋 長 木 公 明（62）
国東町鶴川 小 川 ミヤコ（88）
国東町鶴川 一 井 サツキ（89）
安岐町明治 村 上 幸 吉（85）
21日 国見町小熊毛 藤 畑 よし子（88）
国見町大熊毛 治郎丸 秀 一（90）
22日 安岐町塩屋 鈴 木 美 雪（66）
23日 国東町小原 佐 藤 安 男（94）
24日 国東町鶴川 岡 松 寛（65）
25日 国見町櫛来 河 野 重 子（93）
国見町櫛来 上 野 チズ子（90）
国東町成仏 清 原 研 治（70）
26日 国東町北江 清 末 哲 男（90）
28日 国東町富来浦 利 行 ハツ子（98）
29日 国見町伊美 岐 部 ヨシ子（103）
30日 国見町伊美 藏 本 勝 男（81）
国見町櫛来 荒 木 征 司（80）
安岐町下山口 徳 丸 直（88）

31日 国見町竹田津 井 上 照 覺（97）
国東町小原 枝 村 タツ子（92）

2月

1日 国東町岩戸寺 井 上 チズ子（87）
安岐町塩屋 木 村 義 秋（83）
2日 国東町鶴川 桑 本 ト ミ（99）
3日 国見町伊美 新 川 利 行（59）
4日 国東町成仏 小 原 フミ子（97）
5日 安岐町下原 林 田 重 雄（89）
6日 国見町向田 吉 武 俊 秀（81）
7日 国東町富来浦 金 澤 金 利（89）
国東町浜崎 井 上 潔（93）
国東町鶴川 清 廣 佳 伸（84）
安岐町中園 松 原 トミ子（85）
8日 国東町田深 山 本 哲 二（71）
10日 国見町竹田津 竹田津 シ モ（89）
12日 国見町中 國 廣 善 治（81）
国東町鶴川 岡 本 トヨ子（92）
武蔵町吉広 清 原 和 子（70）
14日 国東町綱井 足 立 ツヨコ（93）
15日 国東町小原 黒 木 アヤメ（89）

※「お誕生おめでとう」「お悔やみ申し上げます」のコーナーについては、掲載希望の申し出のあった方を掲載しています。

ひとの 人口 27,076 (-87) 人 男 12,996 (-39) 人 女 14,080 (-48) 人 世帯数 13,078 (-30) 世帯
うごき 主な異動理由 転入63人 転出98人 出生7人 死亡59人（ ）内は前月比 1月31日現在

編集後記

令和2年度大分県広報コンクールで、市報くにさき（2020年9月号・11月号）と市ケーブルテレビ制作の「国東ん年寄り元気え！～超高齢化社会を生きる～」が入賞しました。取材にご協力いただいた皆さまに感謝いたします。これからも魅力的な市報・番組づくりに努力していきたいと思っています（矢野）

今月号の表紙



～しいたけに自分自身を重ねて～

2月3日、国見町向田の山口さんのほだ場。ご夫妻の柔らかな笑顔の先には、成長を始めたしいたけがありました。「しいたけは、私たちにとって家族であり、同僚であり、師匠のような存在です。しいたけにいろんなことを教わり、人として成長できました。私たちの方こそ、しいたけに育ててもらっているような気がします」と、しいたけの成長に自分自身を重ねて、話してくれました。